

神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IX

山田和彦・工藤孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo:

Landing Fishes of Misaki Fisheries Market, from Sagami Bay, IX

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするために、1984年から三崎魚市場での調査を継続的に行っている。前報までに498種を報告した(山田・工藤, 1999)が、その後新たに漁獲された21種と、過去の記録を整理中に確認された未報告の3種の合計24種が追加されたので報告する。調査開始から15年目にして500種類を越えることとなった。週1回の調査にも関わらず、毎年数多くの追加記録があることに相模湾の奥深さを感じる。

調査方法

調査は、三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて種類、採集場所、採集方法を記録した。調査期間は、1998年10月から1999年9月までの間で、合計55回、1ヶ月平均5回の調査を行った。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島州崎を結んだ線以北の海域のうち、観音崎一富津岬以北の東京湾を除く海域である。魚類の採集場所を図1に示す。初記録種および現場で

の同定が困難なものは、標本として採集し、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)、国立科学博物館魚類資料(NSMT-P)として登録した。また、標本の入手が不可能なものは、写真で記録した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などは中坊編(1993)に従った。

海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は、概略次のとおりであった。

黒潮は、1998年10月に遠州灘沖、11、12月に伊豆諸島海域にあった冷水塊を迂回し、概ね八丈島の南を通過して房総半島沖合いを北上した。1月には一時的に三宅島まで北上したものの、その後4月まで八丈島〜青ヶ島間をほぼ東西に流れ、5〜7月は三宅島〜八丈島間を小蛇行を伴って流れた後、房総半島に向かって北上した。8〜9月は三宅島を中心に北東へ直進し、時折小蛇行を伴った。

相模湾周辺の水温は、昨調査年度に引き続いてほぼ全調査期間を通じて、黒潮系暖流の影響を受けて平年並みから高めで推移した。特に、黒潮が接近した8〜9月の小蛇行が発生した時期には湾内に暖水が波及し、平年より2〜3℃高い水温が記録された。

調査結果

以下に本目録に追加される各魚種の採集年月日、採集場所および採集方法、全長(TL)、登録番号、分布記録等を述べる。

499. アカエソ *Synodus ulae* (図2-1)

1999年9月15日、毘沙門定置網、TL: 248mm, YCM-P31601

南日本、ハワイ、インド洋に分布する。相模湾では佐島近海(林・伊藤, 1974)、熱海(瀬能ほか, 1998)、田の浦湾(東ほか, 1989)から記録がある。

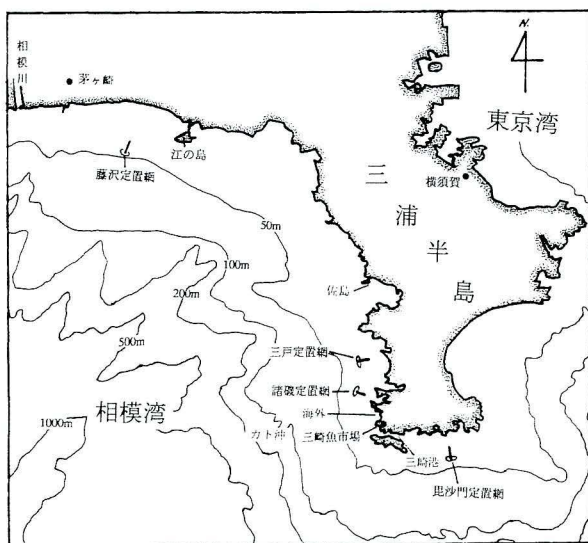


図1. 採集地及び周辺海域の水深。

500. アラハダカ *Myctophum asperum* (図2-2)

1998年10月25日, 三戸定置網, TL: 75mm, YCM-P31602

北海道以南の太平洋沖から世界の暖海に分布する。三浦半島沿岸の定置網で漁獲された記録はない。当日同じ網にはカタクチイワシとタチウオが多く、そのほかにフタスジナメハダカが漁獲された。

501. クサアジ *Velifer hypselopterus* (図2-3)

1999年9月8日, 毘沙門定置網 TL: 215mm, YCM-P31603

宮城県以南, 朝鮮半島, 南アフリカに分布する。益田ほか (1975) によると相模湾に分布するとされているが, 近年の確実な採集記録はない。

502. フウセンキンメ *Beryx mollis* (図2-5)

1999年3月4日, カド沖 (三崎港の西沖) 水深300m・釣り, TL: 237mm, YCM-P31604

本種は1959年に小田原沖で漁獲された個体をもとに新種記載された (Abe, 1959)。その後, 相模湾からの記録はなかったが, 三崎ではまれに漁獲されていたようである。三崎市場では本種を「ひらきんめ」と呼び, ほかのキンメダイ類 (キンメダイおよび「まんきん」と呼ばれるナンヨウキンメ) と区別している。相模湾では, 本種のみが釣れる漁場があるが, キンメダイより価格が低いいため漁獲する人がいない (青木氏私信)。いずれにしても, 相模湾での本種の個体数は, キンメダイに比べかなり少ないと思われる。(その後9月に入り, 三崎港西沖からアカムツ釣りで3匹漁獲されている。)

503. テンジクダツ *Tylosurus acus melanotus* (図2-4)

1999年8月4日, 三戸定置網, TL: 770mm, YCM-P31622

南日本以南, インド・西太平洋の熱帯から温帯海域に分布する。相模湾では天神島 (林・伊東, 1974), 米神 (柴田, 1970) から記録がある。本個体は, 同じ網で漁獲されたほぼ同じ大きさのオキザヨリと比べ, 鰓蓋骨前部に暗青色帯がない (オキザヨリには暗青色帯がある), 眼が大きい (眼が小さい), 尾鰭が深く湾入し赤みを帯びる (中央部が突出し暗青色), 臀鰭の鰭端が黒い (無色) などの点が異なっている。三崎ではオキザヨリは夏期, 定置網で普通に漁獲されるが本種は極めて稀。

504. クロソイ *Sebastes schlegeli* (図2-6)

1999年5月30日, 藤沢定置網, TL: 307mm, YCM-P31605

日本各地から朝鮮半島, 中国に分布する。相模湾では湾奥沿岸 (木幡・亀井, 1981) から記録がある。本種は, 東京湾側ではときどき見られるようである

が, 相模湾では極めて稀である。

505. ヒメコトヒキ *Terapon theraps* (図2-7)

1999年9月19日, 三戸定置網, TL: 52mm, YCM-P31606

南日本からインド・西太平洋に分布する。相模湾では浮漁礁から記録があるが稀である (工藤, 1998)。本年は8月中旬より, 城ヶ島沿岸では多数の流れ藻が漂着し, 他の随伴魚とともに本種を採集している。本個体もイシダイ若魚とともに漁獲されており, 流れ藻に伴って定置網に入網したと思われる。

506. マルヒラアジ *Callangoides caeruleopinnatus* (図2-8)

1998年12月6日, 佐島定置網, TL: 124mm, YCM-P31607

南日本以南, インド・西太平洋の温暖海域に分布する。相模湾からは初記録で, 本種の北限となる。本個体は, 発見時すでに内臓を抜かれてしまっていた。

507. ヒメシマガツオ *Brama dussumieri* (図2-9)

1999年2月14日, 毘沙門定置網, TL: 274mm, YCM-P31608

相模湾から世界の温暖海域に分布する。シマガツオ属魚類の査定には体各部の比率が用いられているが, 成長にともなって変化するため比較は困難である。本個体は, 鰓耙数が15でシマガツオより少なく, 側線鱗数が57でシマガツオより少なく, オナガシマガツオやマルバラシマガツオより多いことで本種とした。

508. フエダイ *Lutjanus stellatus*

1998年10月20日, 毘沙門定置網, TL: 約600mm

南日本以南, 南シナ海に分布する。相模湾では三浦半島南西部 (工藤・岡部, 1991), 田の浦 (東ほか, 1989) から幼魚の記録があるが, 成魚はきわめて稀。残念ながら本個体は標本採集ができず, 不鮮明な写真しかない。

509. オオヒメ *Pristipomoides filamentosus* (図2-12)

1999年9月23日, 藤沢定置網, TL: 145mm, YCM-P31609

南日本以南, インド・中部太平洋に分布する。相模湾からは初記録。通常水深100m以深に生息するとされるが, 若魚は比較的浅い海域に生息するものと考えられる。

510. ヒメタカサゴ *Dipterygonotus balteatus*

(図2-11)

1997年11月12日, 三戸定置網, TL: 67mm, YCM-P31610

インド・西太平洋の温暖海域に広く分布するが, Yoshino *et al.* (1999) により本邦から初めて記録さ

れ和名が与えられた。体形、色彩などハチビキ類の小型のものに似ているが、体側に明るい縦帯があるので識別できる。相模湾初記録であり、本種の北限を大幅に更新した。1997年に採集していたが、その当時日本からの報告がなく、査定に時間がかかったため今回収録した。

511. ニセタカサゴ *Pterocaesio marri* (図2-10)

1999年9月26日, 毘沙門定置網, TL: 182mm, YCM-P31611

高知県以南, インド・西太平洋に分布する。タカサゴに似るが、体側2番目の縦帯がほぼ測線に沿っていることで区別される。相模湾からは初記録であり、本種の北限となる。

512. オオニベ *Nibea japonica* (図2-13)

1999年8月8日, 藤沢定置網, TL: 760mm, YCM-P31623

南日本以南, 東シナ海, 黄海に分布する。相模湾からは初記録。市場関係者によると、最近、長井や城ヶ島でも漁獲されたとのことである。

513. テングチョウチョウオ *Chaetodon selene*
(図2-14)

1999年9月8日, 毘沙門定置網 TL: 105mm, YCM-P31612

相模湾以南, フィリピン, インドネシアに分布する。相模湾では海洋公園から幼魚の記録があるが(益田ほか, 1975)極めて稀で、成魚は初記録と思われる。

514. オキゴンベ *Cirrhitichthys aureus* (図3-1)

1999年9月8日, 毘沙門定置網 TL: 64mm, YCM-P31613

相模湾以南, 中国, インドに分布する。相模湾では西湘定置網(林・西山, 1980), 熱海(瀬能ほか, 1998)から記録がある。沿岸の岩礁に生息するため定置網に入網することは稀。

515. ヒラニザ *Acanthurus mata* (図3-2)

1998年12月20日, 毘沙門定置網, TL: 84mm, YCM-P31614

南日本以南, インド・西太平洋の温暖海域に分布する。相模湾からは初記録。本個体のほかに1個体が、1週間後に同じ網で漁獲された。

516. カマス的一种 *Sphyræna* sp. (図3-3)

1999年8月8日, 毘沙門定置網, TL: 246mm, YCM-P31615

本種は鱗が大きくアカカマスに似ているが、体色はやや暗く、臀鰭は無色で鱗がはげやすい。8月上旬にアカカマスに混ざってかなり漁獲されたが、その後確認していない。未記載種と思われる現在研究中である。

517. コシナガ *Thunnus tonggol* (図3-4)

1999年9月5日, 三戸定置網, TL: 545mm, YCM-P31624

南日本南, インド・西太平洋の外洋表層に分布する。相模湾からは初記録。クロマグロに似るが、胸鰭が長いことで区別できる。当日、同じ大きさの個体が3匹漁獲された。相模湾付近では、8月上旬から黒潮が沿岸に接近し、海面水温が27℃を上回る状況が続いていた。

518. ミナミメダイ *Ariomma brevimanus* (図3-5)

1999年9月23日, 諸磯定置網, TL: 157mm, YCM-P31616

四国, 九州以南, ハワイ諸島, 紅海に分布する。相模湾からは初記録であり、本種の北限となる。直進傾向にあった黒潮が、9月20日ころより八丈島付近で大きく蛇行し、それに伴い相模湾内に暖水が波及したためと考えられる。

519. テンジクガレイ *Pseudorhombus arsius* (図3-6)

1999年7月18日, 三崎港東口中央付近・水深20m・刺網, TL: 210mm, YCM-P31617

愛知県以南, インド・西太平洋の温暖海域に分布する。ヒラメ, ガンゾウビラメ, マコガレイ, クロウシノシタなどとともに漁獲された。同時に採集されたガンゾウビラメに比べ、体がやや丸みを帯び、体色は暗く小黑点が散在する。相模湾からは初記録で、本種の北限となる。

520. ヘラガンゾウビラメ *Pseudorhombus oculocirris*
(図3-7)

1984年9月25日, 三崎沿岸刺網, TL: 約200mm

高知県, 大分県に分布する。有眼側に小黑点が散在するほか、頭部背縁がくぼまないことで他のガンゾウビラメと区別できる。相模湾初記録で、本種の北限となるが、標本はなく写真記録のみである。

521. ホシダルマガレイ *Bothus myriaster* (図3-8)

1987年, 藤沢定置網, TL: 115mm

南日本以南のインド・西太平洋に分布する。体が丸く、無眼側に多くの暗色帯がある。本個体は、以前に採集していたが、コウベダルマガレイに混ざっていた。相模湾からは初記録。

522. アラレフグ *Arothron caeruleopunctatus* (図3-9)

1999年8月8日, 毘沙門定置網, TL: 630mm, YCM-P31625

銚子以南, インド・西太平洋に分布する(Matsuura, 1994)。通常熱帯海域のサンゴ礁に生息し、銚子で採集された個体は黒潮に運ばれたものと考えられる(Matsuura, 1994)。相模湾からは初記録で、本個体も黒潮の影響を受けているものと思われる。

補 足

008. ハナザメ *Carcharhinus brevipinna* (図 3-15)

1999年7月8日, 藤沢定置網, TL: 2700mm

本種は以前に報告したが(山田, 1990), 標本も写真も得られていなかった。本個体は雌で腹部が膨満していたが, 妊娠のためか餌の飽食のためかは確認できなかった。なお前回報告したものは三崎沖で釣獲されたものである。

039. ゴテンアナゴ? *Anago anago*? (図 3-10)

1999年7月8日, 藤沢定置網, TL: 165mm, YCM-P31619

本個体は, レプトケパルスであるが体がやや厚みがあり, 変態直前と思われる。頭部が丸い, 大きな歯がない, 体が大きいなどからゴテンアナゴのレプトケパルスと思われる(沖山, 1988)。

053. スナエソ *Synodus fuscus* (図 3-11)

1999年9月12日, 毘沙門定置網, TL: 223mm, YCM-P31620

本種は以前に報告したが(山田, 1990), 不鮮明な写真しか得られていなかったので標本をもとに補足した。本種の相模湾での分布記録はこれまでのところ毘沙門だけである。

410. アカヒメジ *Mulloidichthys vanicolensis* (図 3-12)

1998年12月8日, 毘沙門定置網, TL: 165mm, YCM-P31618

本種は以前に報告したが(山田・工藤, 1993), 標本も写真も得られていなかったので標本をもとに補足した。本種の相模湾での分布記録は三崎に水揚げされたものだけである。

493. ミゾレチョウチョウウオ *Chaetodon kleinii* (図 3-13)

1999年9月8日, 毘沙門定置網, TL: 44mm, YCM-P31621

山田・工藤(1999)がミゾレチョウチョウウオとして報告した個体は, 本種の特徴的な体色がまだ現れていないものだったが, 今回採集されたものは体色が明らかであるので記録した。

497. ウマヅラハギ属の一種 *Thamnaconus* sp. (図 3-14)

1999年7月8日, 三浦市海外(かいと)沖, 水深20m, 刺網, TL: 約160mm, NSMT-P58582

本個体は, 体形などがウマヅラハギに極めて類似するが, 生時体側に暗色の斑紋があり, 眼から前方に青い線があり, 尾鰭に暗色帯があることで区別できる。しかし, 体側の斑紋は死後急速に失われるため, 定置網などで大漁のウマヅラハギが漁獲された場合, 識別は困難と思われる。本個体は, 体側の斑紋から昨年採集されたウマヅラハギ属の未記載種

(山田・工藤, 1999)と同種と思われる。

おわりに

本報告を作成するに当たり, 標本登録の便をはかってくださり, 種々ご教示いただいた横須賀市自然博物館の林 公義氏, 神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士, 国立科学博物館の松浦啓一博士, 花崎勝司氏, 資料収集にご協力いただいた丸夕丸, 共栄丸, 丸共丸, 諸磯丸, 丸吉丸, 青木丸, 三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

文 献

- Abe T., 1954. New, rare or uncommon fishes from Japanese waters. VII. Description of a new species of Beryx. *Japan. J. Ichthyol.*, 7(5/6): 157-163. pls. 4-6.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. *Bull. Coll. Agr. & Vet. Med., Nihon Univ.*, (46): 175-185.
- 木幡 孜・亀井正法, 1981. 大冷水塊消滅に伴う特異海況と相模湾における珍種の漁獲記録. 水産海洋研究会報, (39): 128-130.
- 工藤孝浩, 1998. 相模湾のパヤオ(表層式浮漁礁)において潜水観察された魚類群集. 神奈川県水産総合研究所研究報告, (3): 1-18.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸域の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
- 益田 一・荒賀忠一・吉野哲夫, 1975. 魚類図鑑, 南日本の沿岸魚. 379 pp. 東海大学出版会, 東京.
- Matsuura, K., 1994. *Arothron caeruleopunctatus*, a new puffer from the Indo-western Pacific. *Japan. J. Ichthyol.*, 41(1): 29-33.
- 中坊轍次編, 1993. 日本産魚類検索—全種の同定. xxxiv+1474 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. xii+1157 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース(KPM-NR)に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- 柴田勇夫, 1970. 相模湾における大型定置網漁業の漁況-II. 定置網で漁獲される魚類について. 神奈川県水産試験場相模湾支所資料, (9): 53-67.
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 21-28.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IV. 神奈川自然誌資料, (14): 49-52.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1999. 神奈川県三崎魚市場に水揚げ

された魚類・Ⅷ. 神奈川自然誌資料, (20): 55-59.

Yoshino, T., T. Kon & H. Senou, 1999. First records of two Caesionid fishes, *Dipterygonotus balteatus* and *Gymnoaesio gymnoptera*, from Japan. *Biogeography*, 1: 57-61.

(山田: おさかな普及センター資料館,

工藤: 神奈川県水産総合研究所)

図2. 1: アカエソ *Synodus ulae*; 2: アラハダカ *Myctophum asperum*; 3: クサアジ *Velifer hypselopterus*; 4: テンジクダツ *Tylosurus acus melanotus*; 5: フウセンキンメ *Beryx mollis*; 6: クロソイ *Sebastes schlegeli*; 7: ヒメコトヒキ *Terapon theraps*; 8: マルヒラアジ *Callangoides caeruleopinnatus*; 9: ヒメシマガツオ *Brama dussumieri*; 10: ニセタカサゴ *Pterocaesio marri*; 11: ヒメタカサゴ *Dipterygonotus balteatus*; 12: オオヒメ *Pristipomoides filamentosus*; 13: オオニベ *Nibea japonica*; 14: テングチョウチョウウオ *Chaetodon selene*.

図3. 1: オキゴンベ *Cirrhitichthys aureus*; 2: ヒラニザ *Acanthurus mata*; 3: カマス的一种 *Sphyræna* sp.; 4: コシナガ *Thunnus tonggol*; 5: ミナミメダイ *Ariomma brevimanus*; 6: テンジクガレイ *Pseudorhombus arsius*; 7: ヘラガンゾウビラメ *Pseudorhombus oculocirris*; 8: ホシダルマガレイ *Bothus myriaster*; 9: アラレフグ *Arothron caeruleopunctatus*; 10: ゴテンアナゴ? *Anago anago*?; 11: スナエソ *Ssynodus fuscus*; 12: アカヒメジ *Mulloidichthys vanicolensis*; 13: ミゾレチョウチョウウオ *Chaetodon kleinii*; 14. ウマヅラハギ属の一種 *Thamnaconus* sp.; 15. ハナザメ *Carcharhinus brevipinna*.

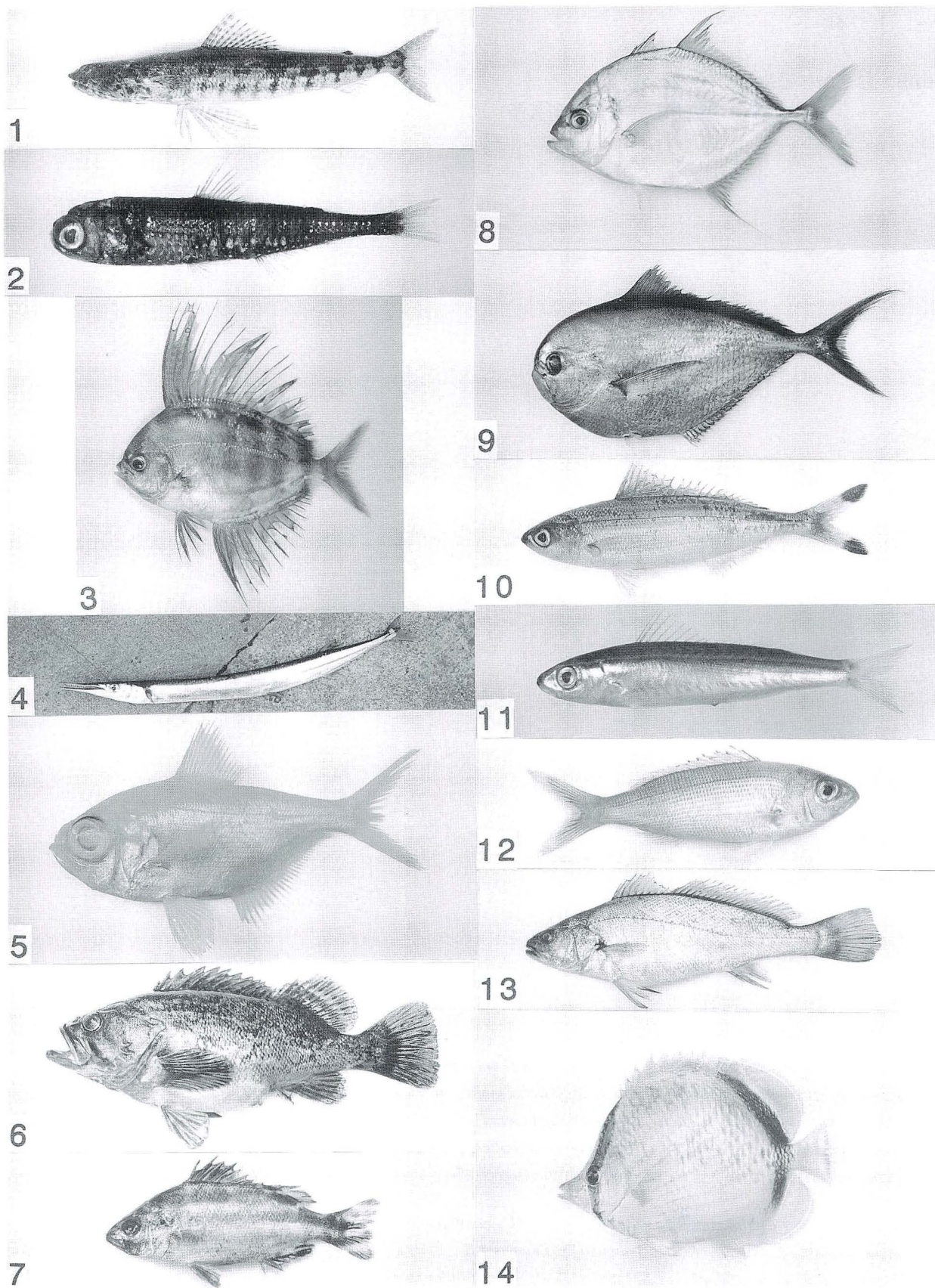


図2. 説明は29 ページ.

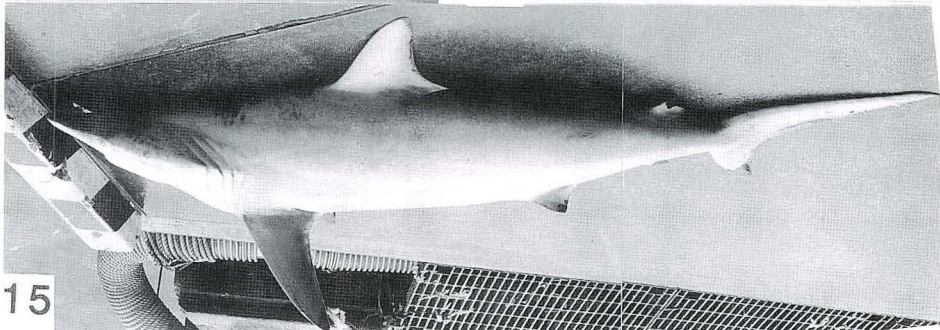
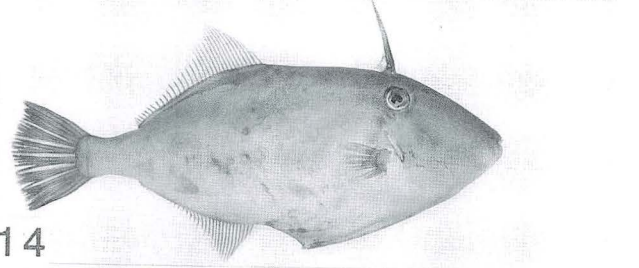
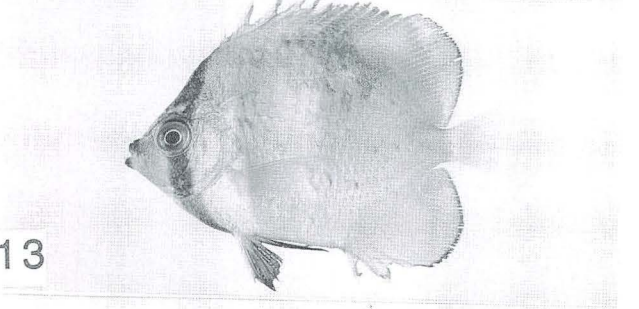
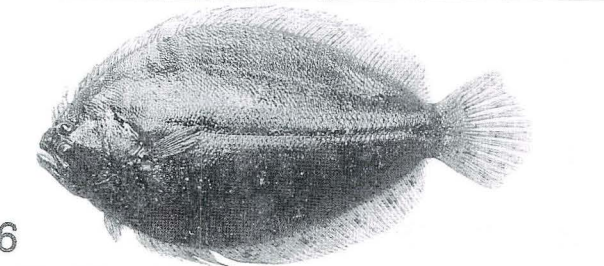
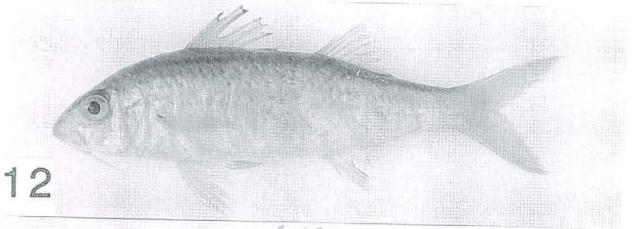
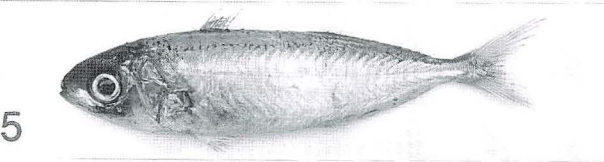
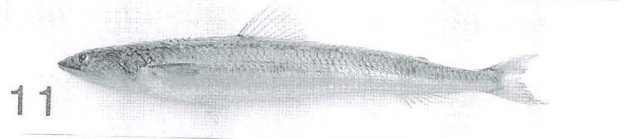
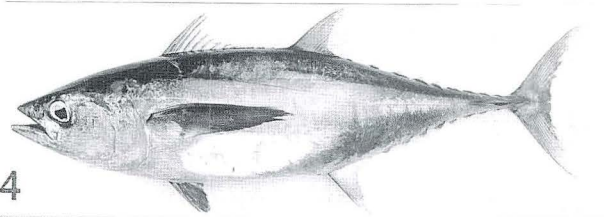
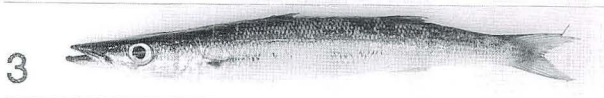
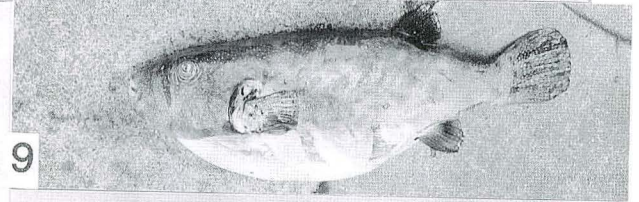
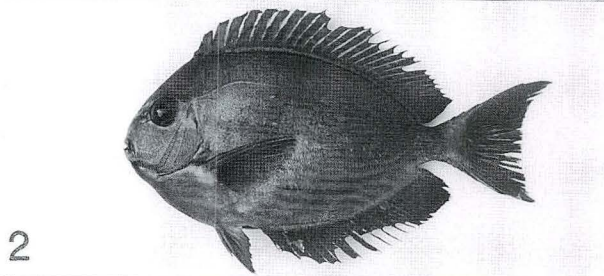
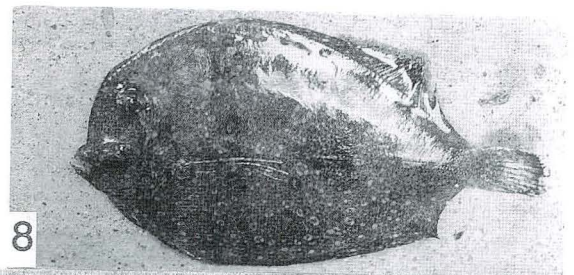
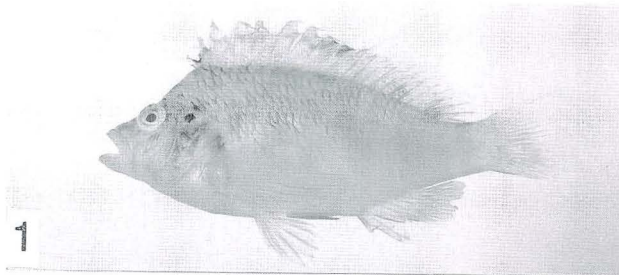


図3. 説明は29 ページ.